

堺の健康みんなで耕すseries

生きるを支えあう地域をつくる

耳原総合病院 教育学習運営会議

× HPH運営会議



宝楽陸寛さん



近藤克則先生



11月14日(金)に、地域コミュニティ棟みみっ
ぱで「生きるを支えあう地域をつくる」を開催
し、職員や地域住民など72人が参加、「健康なま
ちづくりのために職員と地域が一体となって取り
組めることは何か」を一緒に考えました。

当日は、長年にわたり
高齢者の社会参加と健康
の関係を研究され、堺市
介護予防「あ・し・た」
プロジェクトに参画され
ている近藤克則先生と、
高校1年生からまちづく
りに携わり、NPOや市
民活動のコーディネータ
ーとして活躍されている
宝楽陸寛さんをお招き
し、それぞれの立場から
「地域と健康」について
講演いただきました。

近藤先生からは、地域
のつながりが心身の健康
に与える影響や、住民同
士が支え合う仕組みが介
護予防や認知症予防にも
つながるという研究成果

みみプラザキックオフイベント

また、宝楽さんから
は、若者から高齢者まで
が関わり合いながら地域
の課題を解決していく実
践例を交え「誰もが役割
を持てる地域づくり」の
大切さをお話いただき
ました。

「ほっとけ
ない」との
おせっかい
がつながり
をつくり、
無理強いを
しない「ゆ
るいつなが
り」が居場
所をつくら
り、そし
て、コミュ
ニティのつ
なぎ役の
「リンクワ
ーカー」が
増えるとい
う、地域コ
ミュニティ
が活性化し
てきた実践
が紹介されました。

参加者からは「人の行
動が地域を変え、さらに
地域が人の行動が変わる
ことで、地域の健康度が
ボトムアップする事例が
興味深かった」「住民や
参加者を巻き込んでい
く、というアイデアにし
びれました。住民に「お
願いすること」が負担で
はなく、生きがいや健康
につながるという話に気
づかされた」など多くの
感想が寄せられました。

地域の未来を一緒に考
える今回の取り組みは、
当院にとっても学びの多



誰かと一緒にご飯を食べることも
健康づくりにつながるそうです

「研修医育成」に
皆さまの「声」を

右のQRコードからア
ンケートへのご協力を
お願いします。

(耳原総合病院
研修委員会)



秋山愛夏

必要な医療・
介護を国民に

人権としての社会保障が削られないよう、財政支援の実現を

まちの医療機関が
なくなる危機

シリーズ④

「医療介護の経営が大
変な状況にある。地域医
療をまもるために財政支
援を」——この声を国会
議員に届けるため、11月
7日、大阪民医連4病院
の病院長、看護部長、事
務長がそろって上京し、
国会議員会館での請願行
動に取り組みました。

議員本人と面談ができ
たのは5人で、池下卓議
員(維新)、辰巳孝太郎議
員(共産)、西田薫議員
(維新)、森山浩行議員
(立民)、八幡愛議員(れ
いわ)の各議員。議員秘
書が応対したのは、梅村
聡議員(維新)、大石あ
きこ議員(れいわ)、奥
下剛光議員(維新)、尾
辻かな子議員(立憲)、
美延映夫議員(維新)で
した。この日の国会要請

は、全国の民医連
病院がいつせいに
取り組み、全体で
は200件の訪
問、議員本人の面
談29人となり、民
医連の要請行動と
して過去最多にな
りました。

タイミングとし
ては、高市首相が
「医療・介護など
公定価格の引き上
げを行う」と表明
する答弁があった
日の直後。面談で

きた国会議員に
「医療・介護の

経営が大変だということ
を地域の方にも伝えてい
かない」との思いで署
名行動に取り組んでい
る」と伝え、河原林病院
長が「どの医療機関にも
財政措置が必要であり、
国会でしっかりと実現し
てほしい」と強調し、署名
が手渡されました。その
場で署名への賛同を表明
する議員もいました。

2024年6月に民医
連が開始した、オール地
域で医療を守る「たたか
い」は、医師会をはじめ
め、他の医療団体も医療
の窮状を意見表明するな
ど、政府も動かす大きな
流れになっています。

事業と経営の危機は
「必要な医療・介護を受
ける、国民の権利の危
機」であると民医連は呼
びかけています。人権と
しての社会保障が削られ
ないよう、実現を目指し
ます。

(耳原総合病院事務長

川畑 望)



辰巳議員に署名を手渡す河原林
院長(右から2人目)と川畑事
務長(右端)

